第 125 回歴博フォーラム


海浜あみだ湯全景

災害ユートピアとしての文化共創

―能登半島地震後の石川県珠洲市から

日時
2026 年 12 月 12 日 (土) 10:00～16:30 (開場9:30)

会場
東京大学弥生講堂一条ホール
東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内

聴講無料 要事前申込(定員先着260名※)

申込期間　2026年11月12日(木)～12月6日(日)
当館ホームページまたは
往復ハガキにてお申し込みください。
※定員は予告なく変更する場合があります

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History


建具バンクの回収作業（写真：橋本貴雄）


珠洲市での文化財レスキュー


スズ・シアター・ミュージアム復旧作業


一時保管されたレスキュー資料

第 125 回歴博フォーラム

災害ユートピアとしての文化共創

―能登半島地震後の石川県珠洲市から

災害大国である日本において、地域文化の危機は常態化しつつあります。地震災害に限定しても、2011 年の東日本大震災以後、熊本、能登半島、さらに２度目の熊本とわずか 10 余年の間に、多くの地域が被災地となり、様々な文化が喪失したり、存亡の危機の只中にあります。

本フォーラムでは、能登半島地震の主要な被災地である珠洲市での活動を通して、多様な文化の救援と再創造の可能性について、国や研究機関を含めた様々なネットワークによる営みから再考します。災害時に地域の内部と外部との壁を無化し、様々な結節点となりうる人たちの活動を、ここでは「災害ユートピア」という視点から捉えなおし、そのようなつながりのなかで紡ぎなおされる文化の営みについて検証します。

10:00 ～	10:05	開会挨拶　西谷　大（国立歴史民俗博物館・館長）
10:05 ～		趣旨説明
10:20		川村　清志（国立歴史民俗博物館・研究部・教授）
10:20 ～		報告 1「「珠洲の大蔵ざらえ」から「民俗美術ブ」へ」
10:50		南条　嘉毅（アーティスト、スズ・シアター・ミュージアム アートディレクター）
10:50 ～		報告 2「支えること 記録すること―能登での経験から」
11:20		鈴木　泰人（アーティスト）
11:20 ～		報告 3「消えても残る温もり―被災地銭湯が紡ぐ文化の温度」
11:50		新谷　健太（アーティスト、海浜あみだ湯労働者協同組合 代表理事）
11:50 ～	13:00	休憩
13:00 ～		報告 4「解体家屋と修繕家屋を繋ぐ―「建具バンク」の試み」
13:30		山岸　綾（中部大学・工学部建築学科・准教授）
13:30 ～		報告 5「「大蔵ざらえ」の資料レスキュー―整理と活用にむけて」
14:00		真柄　侑（国立歴史民俗博物館・研究部・特任助教）
14:00 ～	14:10	休憩
14:10 ～		報告 6「能登半島地震の文化財レスキュー後についての一考察」
14:40		日髙　真吾（国立民族学博物館・学術資源研究開発センター長・教授）
14:40 ～		報告 7「被災地域の祭りの現在―コミュニティの消滅と創発」
15:10		川村　清志（国立歴史民俗博物館・研究部・教授）
15:10 ～	15:20	休憩
15:20 ～	16:20	総合討論
16:20 ～	16:25	閉会の辞　山田　慎也（国立歴史民俗博物館・研究部・教授）

総合司会　　上野　祥史（国立歴史民俗博物館・研究部・教授）
実行責任者　川村　清志（国立歴史民俗博物館・研究部・教授）









申込方法　**当館ホームページまたは往復ハガキでお申し込みください。**

申込期間　2026 年 11 月 12 日（木）～ 12 月 6 日（日）（往復ハガキ必着）

定　　員　先着 260 名（定員は予告なく変更する場合があります）

■当館ホームページ（https://www.rekihaku.ac.jp）

当館ホームページ ➡ 展示・イベント ➡ 開催予定
をご覧ください。

■往復ハガキ

「第 125 回歴博フォーラム　12 月 12 日参加希望」と明記の上、①住所、②氏名（ふりがな）、③電話番号、④同伴者（１名まで）を記入し、下記宛先にお送りください。

● 申込先 〒 285-8502　千葉県佐倉市城内町 117
国立歴史民俗博物館広報課 広報・普及係

※申込期間前の受付はできません。予めご了承ください。

会場　東京大学弥生講堂一条ホール
東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内

【地下鉄最寄り駅】
東京メトロ 南北線「東大前」駅下車 徒歩１分
東京メトロ 千代田線「根津」駅下車 徒歩８分

お問い合わせ　TEL 043-486-0123（代）

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History